

# News Release

2019年8月7日

各位

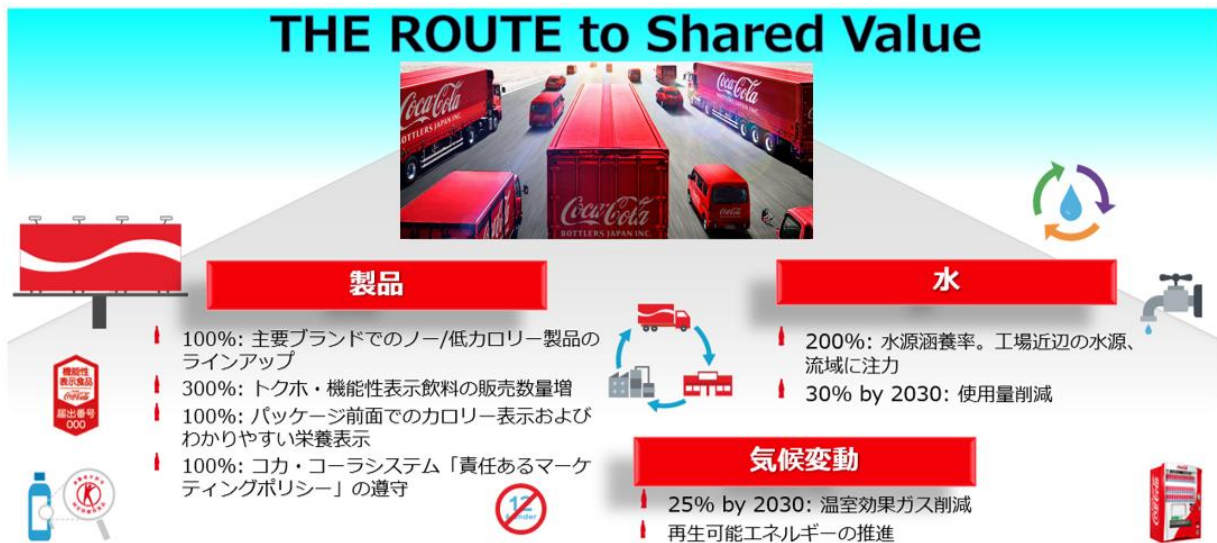
社会との共創価値（Creating Shared Value）の実現へ

## コカ・コーラ ボトラーズジャパンの CSV 目標 「THE ROUTE to Shared Value」を策定


コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス(本社:東京都港区 代表取締役社長:カリン・ドラガン 以下 当社)は、8月7日、ESG 関連の取り組みと社会との共創価値（CSV）の実現を目指したコミットメントとして「THE ROUTE to Shared Value（ザ・ルート・トゥ・シェアード・バリュー）」を、当社が本日発表した5年間の戦略的  
事業計画「THE ROUTE to 2024」の不可欠な要素として発表しました。当社グループは、各地で事業を展開している  
地域社会のみなさまと関係を長きにわたり築いてきました。この度、策定した CSV 目標は、社会と当社グループが共に  
共創価値（CSV）を実現する責任とコミットメントを示す上で重要であると考えています。

2015年に国連で採決された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、企業が社会課題に取り組む責任があると位置  
づけられています。当社グループは持続可能な未来の実現に向け、「共創価値（CSV）」を経営の根幹に位置づけ、  
グループ全体で具体的なアクションを推進しています。

「THE ROUTE to Shared Value」は ESG の「環境」、「社会」、「ガバナンス」分野における当社グループのコミットメント  
を明示しています。これは、2019年7月12日に日本コカ・コーラ社より発表された新しい環境目標「World Without  
Waste（廃棄物ゼロ社会）」に対する強いコミットメントを含みます。日本のコカ・コーラシステムは、「設計」、「回収」、「パートナー」の  
3つを大きな柱とした活動に取り組んでおり、容器由来の廃棄物の問題解決のため、日本国内の優れた資源循環スキーム  
との連携をさらに深め、世界におけるプラスチック資源循環利用のモデルケースとなることを目指します。



※別途記載のない限り、基準年は2015年、目標年は2025年



「廃棄物ゼロ社会」に向けた取り組み

リサイクルの加速に向けた  
新たな環境目標

## World Without Waste

### 設計

- ↑ 50% by 2022: リサイクルPET樹脂の使用率
- ↑ 90% by 2030: リサイクルPET樹脂の使用率
- ↑ 100% by 2030: 化石燃料を使わないサステナブルPET樹脂の使用率
- ↑ 100% by 2025: リサイクル可能な容器の採用
- ↑ 35% by 2030: さらなるペットボトルの軽量化

### 回収

- ↑ 100% by 2030: 販売量と同等の回収量

### パートナー

- ↑ By 2030: 環境保護団体や業界団体との幅広い連携

### 調達

- ↑ 100%: 持続可能な原材料調達

### ダイバーシティ & インクルージョン


- ↑ 6%: 女性管理職比率

### 社会

- ↑ 10%: 従業員のボランティア参加率
- ↑ 100万人: コミュニティプログラム参加人数累計

### 人権

- ↑ 100%: CCBJHグループバリューチェーン上でのサプライヤー基本原則<sup>§</sup>の遵守  
§ Supplier Guiding Principles



※別途記載のない限り、基準年は2015年、目標年は2025年

## CSV 目標

※別途記載のない限り、基準年は2015年、目標年は2025年

製品	100%	主要ブランドでのノー/低カロリー製品のラインナップ
	300%	特定保健用食品製品および機能性表示飲料の販売数量増
	100%	パッケージ前面でのカロリー表示およびわかりやすい栄養表示
	100%	コカ・コーラシステム「責任あるマーケティングポリシー」の遵守
水	200%	水源涵養率。工場近辺の水源、流域に注力
	30%	水使用量削減 (2030年までに)
気候変動	25%	温室効果ガス削減 (2030年までに)
	—	再生可能エネルギーの推進

### 「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」

設計	50%	リサイクル PET 樹脂の使用率	(2022年までに)
	90%	リサイクル PET 樹脂の使用率	(2030年までに)
	100%	化石燃料を使わないサステナブル PET 樹脂の使用率	(2030年までに)
	100%	リサイクル可能な容器の採用	(2025年までに)
	35%	さらなる PET ボトルの軽量化	(2030年までに)
回収	100%	販売量と同等の回収量	(2030年までに)
パートナー	—	環境保護団体や業界団体との幅広い連携	(2030年までに)

調達	100%	持続可能な原材料調達	ダイバーシティ & インクルージョン	6%	女性管理職比率
人権	100%	CCBJH グループバリューチェーン上でのサプライヤー基本原則 <sup>※</sup> の遵守 ※ Supplier Guiding Principles	社会	10%	社員のボランティア参加率
				100万人	コミュニティプログラム参加人数累計